

平成30年11月1日

# 学校関係者評価報告書

東海医療工学専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療工学専門学校 学校関係者評価委員会は「平成29年度 学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただいた。学校自己評価表（平成29年版）と併せてご覧ください。

## I 平成30年度 学校関係者評価委員会 開催概要

### 1. 日 時

平成30年9月1日（土） 11:00～12:00

### 2. 会 場

東海医療工学専門学校

### 3. 議 事

- (1) 平成29年度 学校関係者評価の対応状況
- (2) 平成29年度 自己評価結果について
- (3) 関係者評価委員による評価の実施と公表について
- (4) 意見交換

## II 学校関係者評価委員、学校担当者

### (1) 委員

構成	氏名	所属、職種等
学識経験者	井倉 富雄	社会保険労務士
企業等・卒業生	竹内 亮太	岡崎市民病院 看護局 救急救命士、看護師
卒業生	山口 阿織	東海医療工学専門学校

### (2) 担当教職員一覧

氏名	所属・職名
小足 信雄	学校法人セムイ学園 理事長 東海医療工学専門学校 校長
侘美 好昭	東海医療工学専門学校 顧問
中神 定	学校法人セムイ学園 法人本部 総務部長兼財務部長
森 茂紀	東海医療工学専門学校 専門部長
太田 晃二	学校法人セムイ学園 法人本部 総務部長代理兼総務課長
大野 健二	救急救命科 学科長
柴尾 隆行	救急救命科 専任教員
廣崎 英和	救急救命科 専任教員
平松 善子	東海医療工学専門学校 教学部教務・学生支援課サブチーフ

## III 学校関係者評価委員による意見、提言等

### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

- ・2年課程の救急救命士養成校という特色を活かした教育カリキュラムが組み立てられており、教育理念や育成人物像も明らかにされている。また、それらは、ホームページやパンフレット、ブログ等で広く周知がされていることがうかがえる。今後も、教育理念に基づき、救急救命士としての人材育成が行われることを期待する。

## 基準2 学校運営

- ・事業計画に沿った学校運営が行われていることがうかがえる。今後も効率的かつ安定的な運営を継続してほしい。

## 基準3 教育活動

- ・厚生労働省指定のカリキュラムに準じた教育が行われていることや職業実践専門課程として、外部有識者からの評価も取り入れ、時代のニーズに応じた教育活動が行われている。今後も継続的にカリキュラムを見直し、時代のニーズに応じた教育活動が行われていくことを期待する。

## 基準4 学修成果

- ・救急救命士として活躍するため、救急救命士国家試験合格に加え、就職先である消防官採用試験、公務員試験など、幅広い知識と教養が求められる中で、補習講義や面接対策、公務員試験対策など様々な取り組みが行われている。中退率も2%程度と非常に少ない。今後も学生が望む就職先や国家試験合格率の向上が図られていくことを期待する。

## 基準5 学生支援

- ・意見等は特にありませんでした。

## 基準6 教育環境

- ・多様化する医療ニーズに対応すべく、教育資器材や教育機器の修正ならびに購入を検討し、適切に整備してほしい。
- ・また近年、全国各地で災害等が発生しているため、危機管理マニュアルの改訂等を含め、防災に関する対策の強化を進めてほしい。

## 基準7 学生募集

- ・意見等は特にありませんでした。

## 基準8 財 務

- ・救急救命科(工学校)としては、学生志願者数・入学者数とも安定しており、健全な財務状況と考える。法人全体として、財政基盤が継続して安定化するように努めてほしい。

## 基準9 法令等の遵守

- ・関係法令等を遵守し、適正な運営が行えていると考える。今後も継続してほしい。

#### 基準10 社会貢献

- ・今年度において、尾三消防本部、大府市消防本部、愛知医科大学病院で行われた集団災害訓練にてボランティアで学生を傷病者役として提供した。また、毎年開催されている揖斐川マラソンにも学生ボランティアが参加した。来月、実施予定の豊田スタジアムの集団災害訓練、2月の愛知メディカルラリーにボランティアとして参加予定である。以上のことから、社会貢献は十分と考える。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署において、改善策を検討するものとする。